



2023年度事業  
「医療的ケア児等災害弱者のための避難所の整備」

# 事業報告書

# 事業目的

医療的ケア児など災害弱者の避難拠点となるよう、生命維持にかかわる電源や生活用水などを確保した福祉避難所の整備を目的とする。また、ドクターヘリや震災で救助経験のあるスタッフと連携し、防災教育ができる施設となることを目指す。

# 事業概要

- 太陽光パネル及び蓄電池の設置
- EV車とパワームーバーの整備
- 循環型上水タンクの設置
- 雨水タンクと汲み上げポンプの整備
- 浴室暖房の設置

# 各事業紹介

## 1. 太陽光パネルと蓄電池の設置 (2023. 6. 9完了)

災害時の停電に備え設置。

日照時間の短い冬季でも照明、暖房及び生命維持装置等に使用する電力を単独で賄うことが可能です。

またこれは下記EV車の充電にも使用できます。



太陽光パネル



蓄電池

## 2. EV車とパワームーバー（可搬型給電器）の整備 (2024. 1. 30完了)

人工呼吸器など各家庭の生命維持装置に対し、停電等で電力の供給が途絶した場合に備え、EV車及びパワームーバー (EV車から家庭に電力を供給できる装置) を整備しました。これにより、家庭に対して一時的な電力供給が可能になりました。

EV車の充電が可能な充電ポストも備えます。



EV車



パワームーバー

### 3. 循環型上水タンクの設置 (2023. 11. 30完了)

災害時の断水に備え設置。

常に循環し新鮮な3000Lを貯水できるタンクです。飲用水及び生活用水として使えます。またトイレ用水に限り下記の汲み上げポンプでも供給が可能となっています。



循環型上水タンク (3000L)

### 4. 雨水タンクと汲み上げポンプの整備 (2024. 1. 25完了)

同じく断水に備え設置。

雨水を集められる雨水タンクと、施設に隣接する用水路から給水できる汲み上げポンプ。泥などの沈殿物を分離することでトイレ用水として使用が可能です。

これによりタンクの貯水がより長く使用可能になります。



雨水タンク



汲み上げポンプ

## 5. 浴室暖房の設置 (2023. 11. 30完了)

冬季の災害時、入浴の際にヒートショックなど二次災害のリスクを低減させるために浴室内に設置。

冬季でも晴天時なら太陽光発電単独での稼働が可能です。



浴室暖房

## 得られた成果と今後の展望について

当初の目的であった「生命維持にかかわる電源や生活用水などを確保した」「医療ケア児など災害弱者の避難拠点」はおおむね達成できたと考えています。

今後の課題としてはEV車が1台のみであるため、その備蓄電力が尽きれば充電が必要となり、その間の家庭への電力供給は止まってしまうこととなります。対応策としてもう1台を整備し、一方が給電中、もう一方は充電しこれを繰り返すという形で長期支援が可能となるよう考えています。